

# 肉筆浮世絵の世界展

北斎、広重、国芳、英泉ら  
浮世絵師直筆の  
一点ものが111点

2021年  
**10月2日(土)～**  
**11月14日(日)**



鳥居清深、鳥居山（内邸の三人）（部分）  
寛政年間（1789-1801）

《出品一覧》

[主催] パラミタミュージアム  
[後援] 中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社  
NHK津放送局、三重テレビ放送  
[特別協力] 光ミュージアム  
[監修] 鈴木浩平(美術史家)  
故・永田生慈(美術史家・北斎研究家)  
[企画協力] アートシステム

※本リストの掲載順と作品展示順は必ずしも一致しません  
※会場の都合により作品の一部に変更がある場合があります

No.	絵師名	作品名	材質・形状	制作年代	絵寸法 (cm)
<b>第1章 肉筆浮世絵の展開</b>					
1	むかん 無款	しゃみせんをひくざじょ 三味線をひく坐女	絹本着色一幅	元禄年間 1688-1704	104.6×51.7
2	ふるやま もろまさ 古山師政	たちびじん 立ち美人	紙本着色一幅	寛保～延享年間 1741-48	67.0×25.3
3	とりい きよます 鳥居清倍	たちびじん 立ち美人	紙本着色一幅	正徳～享保年間 1711-36	81.7×31.8
4	むかん 無款	たちびじん 立ち美人	紙本着色一幅	正徳～享保年間 1711-36	88.6×41.1
5	とうせんどうりふう 東川堂里風	にせいなかわむらしちさぶろう 二世中村七三郎	紙本着色一幅	享保年間 1716-36	93.4×38.0
6	にしかわ てるのぶ 西川照信	ならかすがわかみやしゃさいれいえまさ 奈良春日若宮社祭礼絵巻	紙本着色一卷	正徳年間 1711-16	36.0×360.0
7	ばいおうけん えいしゅん 梅翁軒永春	たちびじん 立ち美人	紙本着色一幅	正徳～享保年間 1711-36	99.1×42.2
8	ばいおうけん えいしゅん 梅翁軒永春	ゆうじょとねこ 遊女と猫	紙本着色一幅	正徳～享保年間 1711-36	35.0×47.4
9	やまざき りゅうじょ 山崎龍女	いろこたちすがた 色子立姿	紙本着色一幅	享保年間 1716-36	85.9×32.5
10	みやがわ ちょうしゅん 宮川長春	たちびじん 立ち美人	絹本着色一幅	正徳～享保年間 1711-36	85.1×32.2
11	みやがわ ちょうしゅん 宮川長春	りゅうかめのさらし 柳下布さらし	紙本着色一幅	正徳～享保年間 1711-36	73.8×26.1
12	みやがわ ちょうしゅん 宮川長春	みたてきんこうせんニン 見立琴高仙人	紙本着色一幅	正徳～享保年間 1711-36	78.7×36.4
13	みやがわ ちょうき 宮川長龜	かやびじん 蚊帳美人	絹本着色一幅	享保～寛保年間 1716-44	89.6×28.7
14	みやがわ いっしょう 宮川一笑	おうかびじん 桜下美人	紙本着色一幅	元文年間 1736-41	80.0×29.7
15	みやがわ いっしょう 宮川一笑	わかしゅとびじんず 若衆と美人図	紙本着色一幅	元文～寛保年間 1736-44	87.2×56.1
16	みやがわ いっしょう 宮川一笑	しょうきとびじん 鍾馗と美人	紙本着色一幅	元文末期～寛保年間 1739-44	62.5×16.4
17	かつかわ しゅんすい 勝川春水	ゆうじょとかむろ 遊女と禿	紙本着色一幅	宝暦～明和年間頃 1751-72頃	58.9×23.9
18	とうえんさい かおう 東艶齋花翁	おいばね 追い羽根	紙本着色一幅	寛保～寛延年間 1741-51	83.7×27.8
19	むかん 無款	ゆうほびじん 遊歩美人	絹本着色一幅	寛保～宝暦年間 1741-64	87.9×30.7
20	かわまた つねゆき 川又常行	みたてけんとうし 見立遣唐使	紙本着色一幅	享保年間(1716～36)末期 ～寛保年間(1741～44)頃	74.8×36.7
21	かわまた つねまさ 川又常正	しょうりょうながし 精霊流し	絹本着色一幅	寛保～宝暦年間 1741-64	96.0×32.7
22	じゅこうてい よしのぶ 寿香亭吉信	つづみうつおんな 鼓打つ女	紙本着色一幅	宝暦年間 1751-64	59.8×26.7
23	しん 至信	えんさきにすわるむすめときんぎょばちをもつしょうじょ 縁先に座る娘と金魚鉢を持つ少女	紙本着色一幅	安永年間(1772～81) 中期頃	38.9×48.2

No.	絵師名	作品名	材質・形状	制作年代	絵寸法 (cm)
24	しば こうかん 司馬江漢	とうびじん 唐美人	絹本着色一幅	天明年間 1781-89	96.7×38.0
25	いそだ こりゆうさい 磯田湖龍齋	はをみがびじん 歯を磨く美人	絹本着色一幅	天明年間 1781-89	75.2×31.2
26	かつかわ しゅんしょう 勝川春章	びじんとだるま 美人と達磨	絹本着色一幅	天明7～8年頃 1787-88頃	40.4×48.1
27	かつかわ しゅんえい 勝川春英	きんたろう 金太郎	絹本着色一幅	享和～文化年間頃 1801-18頃	99.7×29.9
28	かつかわ しゅんえい 勝川春英	べんけい 弁慶	絹本着色一幅	享和～文化年間頃 1801-18頃	100.3×29.7
29	かつかわ しゅんじょう 勝川春常	しゅんぶうかぎほこう 春風歌妓歩行	紙本着色一幅	安永6～天明7年頃 1777-87頃	82.0×27.0
30	きたお しげまさ 北尾重政	つきをみるびじん 月を見る美人	紙本着色一幅	天明～寛政年間 1781-1801	93.7×23.6
31	くぼ しゅんまん 窪俊満	あまごいこまち 雨乞小町	絹本着色一幅	享和～文化年間 1801-18	94.0×30.6
32	くぼ しゅんまん 窪俊満	おうかびじん 桜下美人	絹本着色一幅	文化年間 1804-18	89.9×30.9
33	にだいでい きよもと 二代鳥居清元	ゆうじょとかむろ 遊女と禿	紙本着色一幅	寛政年間 1789-1801	82.1×27.2
34	みずの ろちょう 水野廬朝	ゆきみびじん 雪見美人	絹本着色一幅	寛政年間 1789-1801	86.4×29.6
35	きんぶうしゃ とよまる 琴風舎豊磨	ゆうじょとかむろ 遊女と禿	紙本着色一幅	寛政年間 1789-1801	100.0×51.0
36	きたがわ つきまる 喜多川月磨	はぎとおんな 萩と女	絹本着色一幅	享和年間頃 1801-04頃	82.0×29.0
37	きたがわ ゆきまる 喜多川行磨	ははとこ 母と子	絹本着色一幅	文化年間頃 1804-18頃	89.0×31.9
38	きたがわ よしまる 喜多川吉磨	かさもつびじん 傘持つ美人	紙本着色一幅	文化年間 1804-18	81.0×30.8
39	きたがわ ながまる 喜多川長磨	ざしきのびじん 座敷の二美人図	絹本着色一幅	文化～文政年間 1804-30	92.7×38.8
40	ふじまる 藤磨	たびのおんな 旅の女	紙本着色一幅	享和(1801～04)～文化年間 (1804～18)前期頃	130.5×57.0
41	こいかわ はるまさ 恋川春政	ゆうじょ 遊女	絹本着色一幅	享和～文化年間 1801-18	86.7×33.2
42	むかん 無款	なんえきのおんな 南駅の女	絹本着色一幅	文化年間頃 1804-18頃	108.9×49.8
43	ちょうぶんさい えいし 鳥文齋栄之	おののこまち 小野小町	絹本着色一幅	寛政年間 1789-1801	97.3×33.2
44	ちょうぶんさい えいし 鳥文齋栄之	あさざとりのいち 浅草歳の市	紙本着色一幅	文化年間 1804-18	105.3×33.5
45	ちょうえんさい えいしん、しま くんざん 鳥園齋栄深、島君山	えんそうのさんびじん 円窓の三美人	絹本着色一幅	寛政年間 1789-1801	103.5×48.2
46	いっかんさい えいししょう 一貫齋栄尚	げいしゃたちすがた 芸者立姿	絹本着色一幅	寛政～文化年間 1789-1818	86.0×27.6
47	たかだ えいちょう 高田栄晁	よごびじん 浴後美人	絹本着色一幅	文化年間 1804-18	98.3×25.8
48	れきせんてい えいり 礫川亭永理	ゆうじょ 遊女	絹本着色一幅	文化年間 1804-18	82.4×28.5
49	げんじゅさい えいぎょう 玄珠齋栄暁	ゆうじょとかむろ 遊女と禿	絹本着色一幅	文政年間 1818-30	34.0×56.3

## 第2章 百花繚乱・多彩な作品群

50	かつしか ほくさい 葛飾北斎	にちりゅうげつ 日龍月	紙本着色三幅対	寛政12～文化5年 1800-08	各)103.1×17.5
51	かつしか ほくさい 葛飾北斎	にちれん 日蓮	紙本着色一幅	文化8～文政3年 1811-20	40.6×20.3
52	かつしか ほくさい 葛飾北斎	あさづまぶね 浅妻舟	紙本着色一幅	文化～文政年間 1804-30	84.0×26.5
53	かつしか ほくさい 葛飾北斎	よじょう 豫讓	紙本着色一幅	弘化3年 1846	29.0×50.5
54	しょうてい ほくじゅ 昇亭北寿	ゆうじょどうちゅう 遊女道中	紙本着色一幅	寛政～文化年間 1789-1818	89.8×26.6
55	りゅうりゅうきょ しんさい 柳々居辰齋	むすめとじゅうしゃ 娘と従者	紙本着色一幅	寛政(1789～1801)後期～ 文政年間(1818～30)	86.1×26.6
56	ていさい ほくば 蹄齋北馬	たうえ 田植え	絹本着色一幅	文化～天保年間 1804-44	100.0×35.8

No.	絵師名	作品名	材質・形状	制作年代	絵寸法 (cm)
57	ていさい ぼくば 蹄齋北馬	おうかびじん 桜下美人	絹本着色一幅	文化～天保年間 1804-44	94.0×38.6
58	かつしか ぼくめい 葛飾北明	あんどんびじん 行燈美人	絹本着色一幅	文化～文政年間 1804-30	94.1×27.3
59	ほうてい ごせい 抱亭五清	きをめでるびじん 菊を愛でる美人	絹本着色一幅	文化～文政年間 1804-30	79.9×31.8
60	ほうてい ごせい 抱亭五清	ゆうじょにあこがれるおんな 遊女に憧れる女	絹本着色一幅	文化～天保6年 1804-35	82.0×32.2
61	かつしからいしゅう 葛飾雷周	ふたつまら 二つ枕	紙本着色一幅	文化～文政年間 1804-30	31.4×44.9
62	しゅんさい れんば 駿齋連馬	ほととぎすとゆうじょ ほととぎすと遊女	絹本着色一幅	文化～文政年間 1804-30	81.4×27.7
63	かつしか ためなお 葛飾為直	みたてふげんぼさつ 見立普賢菩薩	絹本着色一幅	天保～安政6年 1830-59	89.7×35.1
64	かつしか ためなお 葛飾為直	どうだい 燈台	紙本着色一幅	天保～安政6年 1830-59	85.3×28.3
65	けいさい えいせん 溪齋英泉	たちびじん 立ち美人	絹本着色一幅	文政年間 1818-30	98.3×32.4
66	にだいでりい きよみつ 二代鳥居清満	せきちゅうかささしびじん 雪中傘さし美人	絹本着色一幅	文化～弘化年間 1804-48	83.2×36.4
67	かつかわ しゅんせん 勝川春扇	ゆあがりびじん 湯上り美人	紙本着色一幅	文化3～文政2年頃 1806-19頃	88.3×26.5
68	きた ぶせい 喜多武清	ほろよい ほろ酔い	絹本着色一幅	享和～嘉永年間 1801-54	90.6×30.0
69	いわせ きょうすい 岩瀬京水	はたるがり 蛸狩	絹本着色一幅	文政～安政年間 1818-60	59.2×94.2
70	むかん 無款	りょうごくはなび 两国花火	絹本着色一幅	文政～天保年間 1818-44	22.8×50.3
71	うたがわ とよはる 歌川豊春	ゆうじょとかむろ 遊女と禿	絹本着色一幅	寛政年間頃 1789-1801頃	41.6×33.7
72	うたがわ とよに 歌川豊国	おうかゆうじょとかむろず 桜下遊女と禿図	絹本着色一幅	寛政年間(1789～ 1801)中期	90.3×29.3
73	うたがわ くいまさ 歌川国政	たちびじん 立ち美人	紙本着色一幅	寛政8年頃 1796頃	94.0×21.3
74	うたがわ くにしげ 歌川国重	すだれをあげるおんな 簾をあげる女	絹本着色一幅	文政年間頃 1818-30頃	100.1×39.7
75	うたがわ くにやす 歌川国安	たちびじん 立ち美人	絹本着色一幅	文政年間頃 1818-30頃	93.8×33.2
76	うたがわ くにつぐ 歌川国次	みめぐりのさんだいめおのえきごろうとげいぎ 三囲の三代目尾上菊五郎と芸妓	紙本着色双幅	文政年間頃 1818-30頃	各)97.0×28.1
77	うたがわ くにむね 歌川国宗	いぬとあそぶびじん 犬と遊ぶ美人	絹本着色一幅	文政年間頃 1818-30頃	81.5×31.8
78	うたがわ くにむね 歌川国宗	かきつばたとびじん 杜若と美人	絹本着色一幅	文政年間頃 1818-30頃	94.4×36.3
79	うたがわ くにむね 歌川国宗	つめきり 爪切り	絹本着色一幅	文政年間頃 1818-30頃	82.6×29.5
80	うたがわ にかつ 歌川国勝	しゃみせんのけいこ 三味線の稽古	絹本着色一幅	天保～弘化年間頃 1830-48頃	85.5×41.8
81	うたがわ くにひで 歌川国英	しゅうしきじょ 秋色女	紙本着色一幅	文政年間頃 1818-30頃	57.8×57.8
82	うたがわ くにひさ 歌川国久	ははとこ 母と子	紙本着色一幅	文化年間 1804-18	93.4×41.7
83	うたがわ くにひさ 歌川国久	むしをとるおんな 虫を採る女	絹本着色一幅	文化年間(1804～18) 前期	80.6×31.3
84	うたがわ とよひろ 歌川豊広	ゆうじょとかむろ 遊女と禿	紙本着色一幅	寛政年間(1789～ 1801)前期	105.0×37.0
85	うたがわ ひろしげ 歌川広重	つきよかりをきくおんな 月夜雁を聴く女	紙本淡彩一幅	安政年間(1854～ 60)前期	85.7×27.6
86	うたがわ ひろしげ 歌川広重	すみかまず 炭竈図	絹本淡彩一幅	安政年間(1854～ 60)前期	40.0×53.3
87	とば ひろまる 鳥羽丸	ゆうじょ 遊女	紙本着色一幅	文化年間(1804～18) 後期	115.5×27.5
88	にだいつたがわ ひろしげ 二代歌川広重	とげつきょう 渡月橋	絹本着色一幅	安政6～慶応元年 1859-65	66.7×29.4
89	うたがわ くによし 歌川国芳	えんだいびじん 縁台美人	絹本着色一幅	嘉永年間 1848-54	111.2×48.3
90	とよはら くにちか 豊原国周	ごはいゆう 五俳優	絹本着色一幅	明治3～6年頃 1870-73頃	54.0×80.1

No.	絵師名	作品名	材質・形状	制作年代	絵寸法 (cm)
91	うたがわ くにとし 歌川国歳	ゆうじょとかむろ 遊女と禿	紙本着色一幅	明治初期頃 1868-77頃	111.7×57.0
92	うたがわ さだかげ 歌川貞景	あしあらい 足洗い	絹本着色一幅	文政～天保年間 1818-44	81.5×33.5
93	うたがわ さだひで 歌川貞秀	にびじん 二美人	絹本着色一幅	天保～明治初期 (1830-75)頃	105.1×49.2
94	つきおか よとし 月岡芳年	おうかびじん 桜下美人	絹本着色一幅	慶応(1865～68)～明治年 間(1868～1912)初年頃	96.8×27.3

### 第3章 上方と地方で描かれた肉筆浮世絵の展開

95	かわえだ とよのぶ 川枝豊信	しょうりょうさい 精霊祭	紙本着色一幅	享保年間 1716-36	91.7×34.5
96	つきおか せつてい 月岡雪鼎	ひなにんぎょうをだくゆうじょ 雛人形を抱く遊女	紙本着色一幅	明和年間初期(1764 ～66)	89.2×28.2
97	つきおか せつてい 月岡雪鼎	みたてそがのじゅうろうとどらごせん 見立曾我十郎と虎御前	絹本着色一幅	明和2年 1765	86.7×31.4
98	つきおか せつてい 月岡雪鼎	おとこまい 男舞	絹本着色一幅	明和年間末期(1769～ 72)～安永7年(1778)	90.0×27.9
99	つきおか せつてい 月岡雪鼎	ゆうじょ 遊女	絹本着色一幅	天明2～3年頃 1782-83頃	69.5×34.3
100	すみのえ ぶぜん 墨江武禅	ゆうぐれのにわ 夕暮れの庭	紙本着色一幅	安永年間 1772-81	116.0×45.5
101	つきおか せつさい 月岡雪斎	びじんゆうぎ 美人遊戯	絹本着色一幅	寛政～天保年間 1789-1844	103.0×44.4
102	むかん 無款	おはらめ 大原女	絹本着色一幅	天保～慶応年間頃 1830-68頃	44.5×109.6
103	ぎおん せいとく 祇園井特	ひもをむすぶおんな 紐を結ぶ女	絹本着色一幅	文化年間 1804-18	90.4×40.2
104	ぎおん せいとく 祇園井特	こもり 子守	紙本着色一幅	文化12年 1815	82.8×32.5
105	みはた じょうりょう 三島上龍	はなふぶき 花吹雪	絹本着色一幅	天保年間 1830-44	127.5×54.1
106	よしわら しんりゅう 吉原真龍	もみじのした 紅葉の下	紙本着色一幅	天保～弘化年間 1830-48	126.1×48.5
107	よしわら しんりゅう 吉原真龍	しおくみのまい 汐汲みの舞	絹本着色一幅	天保～弘化年間 1830-48	109.8×42.9
108	よしわら しんりゅう 吉原真龍	しおひがり 潮干狩	絹本着色一幅	天保～弘化年間 1830-48	47.2×68.9
109	まさもり 昌盛	まいひめ 舞姫	絹本着色一幅	天保年間(1830～ 44)以降	103.2×44.8
110	おおいし まとら 大石真虎	ゆうじょとかむろ 遊女と禿	絹本着色一幅	文政年間 1818-30	130.0×60.6
111	しゅうゆうさい かりゅう 周幽斎夏龍	ものおもうおんな 物思う女	紙本着色一幅	寛政～文化年間頃 1789-1818頃	118.0×26.0

